

# 令和4年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	市政結和
議員名	金濱元一・我妻静夫・岡田健一・早川昇三・南川達彦・鈴木和彦
調査実施年月日	令和4年7月5日
調査先 自治体名等	福岡県久留米市
調査項目	セーフコミュニティ事業について
調査目的	安全安心なまちづくりについて
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口：302,122人 行政面積：229.96km<sup>2</sup></p> <p>2 視察内容</p> <p>① 概要</p> <p>久留米市は、WHO(世界保健機関)セーフコミュニティ協働センターが推奨するセーフコミュニティを推進し、『けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる』という考え方にに基づき、様々なデータを使って、市民の皆さんや校区コミュニティ組織、各種団体、市などが協働しながら安全で安心なまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>2013年12月、久留米市は全国の中核市、また九州の自治体として初めてセーフコミュニティの国際認証を取得しました。</p> <p>セーフコミュニティ活動は、個人でもできることから、家庭内や職場でのちょっとした『気付き』や『心掛け』があれば、けがや事故の予防につながります。</p> <p>久留米市ではパンフレットを作成し、セーフコミュニティの取り組みの中から、市民の皆さんが個人や地域などで身近にできることを紹介して一人でも多くの市民の取り組みをお願いします。</p> <p>② 主なセーフコミュニティ活動</p> <p>◇家庭など個人でできること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故の予防 夜間の外出時はドライバーに見えやすいように明るい服や反射材をつける。</li> <li>・児童高齢者虐待、DVの予防 近所の家庭で、「子どもの泣き方が気になる」「争うような声がある」「最近、外出する姿を見ない」など異変に気付いたときは、関係する窓口へ連絡する。</li> <li>・自殺予防 家族や職場の仲間に「眠れない」「お酒の量が増えた」といった変化が現れた場合は声をかけ、保健所への相談やかかりつけ医の受診を勧める。 また、自身が落ちこんだり悩んだりしたときは身近な人や保険所などに相談したり、かかりつけ医を受診したりする。</li> </ul> <p>◇地域やNPO 団体などと市が連携してできること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯、防災、交通安全 地域の自治会や団体が一緒になって防犯、防災、交通安全などの視点で、事故や犯罪、災害があった場所や起こりそうな危険箇所を点検・確認して安全安心マップを作成し、見守り活動などに活用する。</li> <li>・児童虐待の予防 乳児がいる家庭を保育士が訪問し、子育てサロンなどの育児情報を提供するとともに、民生委員・児童委員といった地域の支援者を紹介する。また、中学校で生徒が子育て体験を通して生命の大切さを学ぶ機会をつくる。</li> </ul>

	<p>・防災</p> <p>日頃から地域の安全は近隣住民の相互協力を守る「共助」の取り組みとして、自主防災活動や災害時に援護が必要な人を支援する活動に参加し、災害の知識を身に付け、防災の意識を高める。</p> <p>◇市で行っている取り組み・</p> <p>・街頭防犯カメラの設置</p> <p>警察の意見などを参考にしながら、街頭防犯カメラを設置し、犯罪が起きにくい環境を整備する。</p> <p>◇通学路のカラー舗装</p> <p>・児童や生徒が安全に通学できるように、路側帯のカラー舗装など事故の起きにくい環境整備をする。また、市や警察、地域の交通安全ボランティアと連携・協働して交通安全教室を実施する。</p> <p>③ 成果(2011年から2020年までの成果)</p> <p>交通安全: 自転車事故件数 61.7%減少</p> <p>子どもの安全: 小学校の怪我件数 23.6%減少</p> <p>高齢者の安全: 認知症サポーター養成講座受験者数 29.6倍に増加</p> <p>犯罪・暴力の予防: 一般刑法犯の認知件数 73.2%減少</p> <p>自殺予防: 自殺者数 15.6%減少</p> <p>防災: 校区防災士養成人数 7倍に増加</p> <p>④ 今後の課題</p> <p>今後の課題として、①セーフコミュニティによる安全安心のまちづくりを継続していくこと。(持続的な取り組みが必要) ②安全安心のまちづくりの裾野の拡大。(市民参加の拡大) ③安全安心のまちづくりの「見える化の充実。(情報発信の工夫)などが今後の課題とし挙げられていた。</p>
<p>感想(まとめ)</p> <p>本市へ生かせること 等</p>	<p>本市においても交通事故予防、児童・高齢者虐待、DV、自殺の予防、防犯、防災など多くの課題があります。今後、少子高齢化社会、人口減少がますます進んでいくことから、久留米市が取り組んでいる「家庭で 地域で できることから始める」セーフコミュニティは大変参考になりました。</p> <p>特に市が取り組んでいる街頭防犯カメラの設置、通学路のカラー舗装など今後のまちづくりに取り入れていきたい。</p>